

「平成30年度における福祉施設から一般就労への移行調査」実施報告

仙台市障害者就労支援センター

1 目的

「仙台市障害者保健福祉計画・仙台市障害福祉計画・仙台市障害児福祉計画」に定める数値目標（「福祉施設の利用者における一般就労への移行者数」等）の到達状況を確認するとともに、仙台市内における障害者就労支援の現状を把握することを目的とする。

2 実施機関

仙台市健康福祉局障害福祉部 障害企画課

仙台市障害者就労支援センター

3 調査対象事業所

仙台市内の福祉施設 275 箇所

※内、就労移行支援事業所 42 箇所、就労継続支援 A 型事業所 19 箇所、就労継続支援 B 型事業所 103 箇所、自立訓練（機能訓練、生活訓練）事業所 19 箇所、生活介護事業 72 箇所、障害者小規模地域活動センター20 箇所）

※内、回答事業所 222 施設 270 事業、未回答事業所 3 施設 5 事業、回収率 98%

4 調査対象年度

平成30年度

5 調査内容

平成30年度における福祉施設から一般就労への移行者数

6 実施方法

下記の方法で調査票を送付し、回答を依頼した。

①仙台市障害者就労支援センターメーリングリストに登録している対象事業所…仙台市障害者就労支援センターよりメール発信

②①以外の対象事業所…仙台市障害企画課より郵送

7 調査期間

令和元年5月22日～6月6日（回答締切日）

最終回答受取日：令和元年7月18日

8 調査結果

①仙台市における福祉施設から一般就労への移行者数：284名（前年度223名 27%増）

（内、就労移行支援事業所から一般就労への移行者数：226名（前年度172名 31%増））

※仙台市障害者就労支援センターが直接支援して就労した障害者や特別支援学校の新卒就労者は含まない。

（*「仙台市障害者保健福祉計画・仙台市障害福祉計画・仙台市障害児福祉計画」に定め

る数値目標：224名)

②就労移行率 30%以上の就労移行支援事業所数：17 事業所（移行支援事業所の 45%）

（＊「仙台市障害者保健福祉計画・仙台市障害福祉計画・仙台市障害児福祉計画」に定める数値目標：36%）

③結果の概観

- ・一般就労移行者 284 名のうち、就労移行支援事業所からの一般就労者が 226 名（79.6%）と最も多く、次いで就労継続支援 B 型事業所の 27 名（9.5%）となっている。
- ・一般就労者を障害種別で見ると、精神障害（169 名、59.5%）、発達障害（41 名、14.4%）、知的障害（36 名、12.7%）の順となっている。
- ・就労先業種は「情報通信業」が 44 名（15.5%）と最も多く、次いで「福祉・医療業」40 名（14.1%）、「卸売・小売業」37 名（13.0%）の順となっている。
- ・年度内離職者は 35 名（離職率：12.3%）で、離職理由で最も多かったのは「作業・業務とのミスマッチ」（10 名、28.6%）、次いで「病気による体調不良」（7 名、20.0%）の順となっている。
- ・離職者の雇用形態は常用雇用（30 時間以上）（24 名、68.6%）が最も多かった。
- ・離職者を障害種別で見ると、精神障害が 25 名（一般就労者の 14.8%）、身体障害が 2 名（同 9.5%）、知的障害が 2 名（同 5.6%）となっており、精神障害の離職率が最も高かった。
- ・就労移行支援事業所の一般就労以外の退所者は 139 名で、退所理由として最も多かったのは「就労希望の変更」（48 名、34.5%）、次いで「病気による体調不良」（13 名、9.4%）となっている。

9 添付資料

- | | |
|------------------------------------|------|
| ①利用者の一般就労への移行数（総括） | 別紙 1 |
| ②利用者の一般就労への移行数（就労移行支援事業所） | 別紙 2 |
| ③利用者の一般就労への移行数（就労移行支援事業所以外） | 別紙 3 |
| ④一般就労以外の理由で退所した利用所の状況（就労移行支援事業所のみ） | 別紙 4 |

以上